

第2部 成熟するアジアと世界へむかうヨーロッパ

第3章 大西洋世界の変容とその波及

3節 ヨーロッパの動乱の波及

② オスマン帝国の動揺 (教科書 p.94~95)

■ポイント

- ①オスマン帝国は、どのような問題をかかえていたのだろうか。
- ②オスマン帝国に支配されていた諸民族は、どのように独立していったのだろうか。

オスマン帝国の動揺 [p.94]

アメリカ大陸からの [] の流入 (17世紀~)

- 商品作物生産と結びつく大土地所有の発展
- 地方の経済的・政治的自立
- 中央権力の弱体化

農民の窮乏化→農民・都市民衆の反乱

従属諸民族 ([] 半島など) の民衆の蜂起

第2次ウィーン包囲の失敗 (オーストリアに敗北)

- [] でハンガリーを失う
- ヨーロッパに対する劣勢

ナポレオンのエジプト遠征 [p.94]

ナポレオンによるオスマン帝国領エジプト占領 (1798)

- ・目的…イギリスの [] への道を絶つ
- ・結果…フランス撤退→エジプトの自立化

エジプト新総督 []

- …フランスを手本にした富国強兵や対外出兵推進

ワッハーブ派の運動 [p.95]

[] 派の運動…オスマン帝国領のアラビア半島での宗教運動

目的…イスラームの原点回帰

聖者崇拜などを攻撃

地方豪族 [] 家のもとで独立国家建設

結果…オスマン帝国の要請を受けたムハンマド・アリーによって鎮圧

ギリシアの独立 [p.95]

フランス革命・ナポレオン戦争の影響

→バルカン半島における諸民族の民族意識高揚

①セルビア人の反乱 (1804)

② [] 独立戦争 (1821~29)

→ムハンマド・アリーのエジプト軍は [] 支援

→ [] を支援するロシア・イギリス・フランスの介入

結果… [] の独立承認 (1830)

セルビアの完全自治を承認

ワラキアとモルドヴァ→ [] 公国 (1861)